

● 除曆 十二月廿一日
發行所 京城新報社
京城西側四小門邊
山手英 街

新強旅行記
(三)

學者の意見近くされるこそして吾等は二三の學者の羊群に遭遇せり、彼等の寄辭は、命を賭して見つけた「アンデス」人に似たる、其の事實を正確にして、新人のそれよりも遙かに其の著書美妙にして實に人耳を傾けしむるもの、其の一語をも解し得ざるは遺憾なり、彼等は我等が驚愕せし其間に其羊を飼ひ、吾等が汲用する水源にて其羊に飲ひ水を、彼等の中には婦人あり其服裝は數年前より歐洲に流行せし婦人服と同じ襟に肩と腕とを露し、處に彫れたる装束を著けたり、此處は蒙古の婦人等が襟にて井戸より水を汲び行く時其手を保護する用をなすなり、吾等が歩むる彼等降魔の仲間は何處せるか、及麵包と蜜漬の「ヤムベ」及羊肉の胡瓜の外何物をも食せず、一片の豚肉と羊肉とを、彼等には年七二度の食用たるに過ぎざるべし、彼等は其服裝上肉食をなさざるを、よく健康なることを明なり、彼等は氣血にて降魔人の到處企及すべからざる程、風雨天候の影響に反抗する力を有するなり、我等等の降魔の通過せし砂漠の山脈の地質學的構造はゼルマン「彩色を呈し其岩石は或は黒色にして石灰の如き花崗石あり或は淺靨なる白色の石英あり或は稀なる陽起石ある赤色の花崗石あり、金の地質學上の砂石にして最も廉はしき片鱗、鐵の如きものあり或は黒色の岩石よりなるものにして燐、石の渣屑の如く見ゆるあり、吾等は此等の岩石の標本の色々數丈持ち來り後日地質學者その他の人々々と興味を與ふることなり、三月十八日は吾等が其興味と共に荒砂漠に還りし第三回の日曜日なり、吾等は俄に新鮮なる地に天幕を張れる吾等の生活法に充分に慣れ其後の旅行中は天幕の中に駝の鞍上に眠るを例とし此遊牧生活、實際の趣味を感じ熱熱く塵芥多き組合生活に立立たるを却て恐るゝに至れり然れども唯一事、吾等の組合生活に飽きすべきことあり、吾等は毎夜食事の際支那人が動物の如き音を立つところを聞かれずしに濟むことなり、是れ實に組合の垢穢より一層厭ふべきもの實にばなり、彼の駝の取者と接近し毎夜小半時間、

きも決して此書讀と解することを得ず、只唯だ彼は無智なる此素朴漢を寛恕するを得べけんのみ。

哈密を去ること八驛なるリハミハートラン、よりの通信にてデーリング氏は下の如く、其日記を續けり。

三月二十日、吾等は北方地平線上に萬古の雪を戴ける、タイアオ山の連峯を見たり、哈密は其山麓にあり、聞く新疆の首魁は彼の山の彼方に據ると云ふ、三月二十二日のには數人の農夫等が進民を開始せる地に達せしが彼等は能く程遠かるの處より肥田良好なる土壌を堆く運搬し來りて砂地をば等號の田野とせり、彼等の家屋は最近二十日間初めて見たものなり、吾等が途中に遇ひし蒙古人は唯だ灌木にて作りし草屋又は天幕の中に住せしなりき、この夜強しき嵐風吹き起り殆ど旅行すること能はしき處風吹しは漸留せり、此地は花園の丘崗上に、同教の寺院あるの故に其名、廟と云ふ、回教の一僧其妻及父と共に吾等の天幕を訪はれたしが彼等は異古斯坦の土人に於て外觀清人に甚しく異なり、余が携帶せしモルガース、タター及「オストラカン」タターの書を読む力を有たり、彼等は美麗にして通常の支那人より膚進化せる如く見たり、此地に住せるのは十人の男子と數人の女子及小兒のみにして家畜を養ひ又駱駝、馬及雞の食料たり、豌豆を種う其他は小麦、小穂を種植せり、其畝の周圍には美しい樹木入りしけるが、此吾等が二十日以前砂漠に於て見し後初て見たものなりき。

ステツセル裁判

有史以來の大審問、露國陸軍の内幕、日露戦争最後の悲劇、旅順要塞開城事件、金州に關するクロボトキの證言の後、護士は戰國前及戰國最中ステツセル、オーク兩將の間に交換された電文を殘す法廷に於て朗讀することを申請せり、その際アレクセーエフ大將よりステツセルの遺したる電文も朗讀されしが、其の中に「金州戦國の主要任務は要索を支持することに非ずして、適時に退却することに在り」と言はれた。

「モザレフスキイ中尉の證言」

クロボトキ將軍に續て金州戦國の緊要

ステツセル裁判
(十)

以上モザレフスキイ中尉の證言は凡て人に何となく重苦しき厭戚を與へたりの。尉の審問は午後六時に及び、是れにて第回の裁決終り、第三回は明三十日(十二月三日)開廷の筈、而して、金州戰聞に關する證人の審問は、金佳堡に入るべし。

韓國の度量(二)
度支部稅務部調查
各地方度量概覽
京城

種類 日本曲尺 換算 摘
本尺 一尺六寸四分 所謂營造尺
寸 一尺四寸五分 普通及縫用の
尺 一尺四寸五分 普通及縫用の

韓國の度量(二)

五種	同	同	同
升類	一尺六寸八分	一尺六寸八分	一尺六寸八分
斗	五厘	一尺七寸	一尺七寸
量	其數多からす	其數甚だ稀なり	市場僅に一本ありのみ
日本尺換算	四尺六合五勾三才		

[illegible]

二月中旬の外國貿易

[illegible]

の年月を要すべきを以て
共に是等冒頭の賣行に

[illegible]

新海丸	二月八日	後一時
大連丸	二月八日	前九時
山邊丸	二月八日	前九時
釜山丸	二月二十九日	
御乘船	二月二十九日	
送迎船	二月二十九日	
船出帆	二月二十九日	